

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

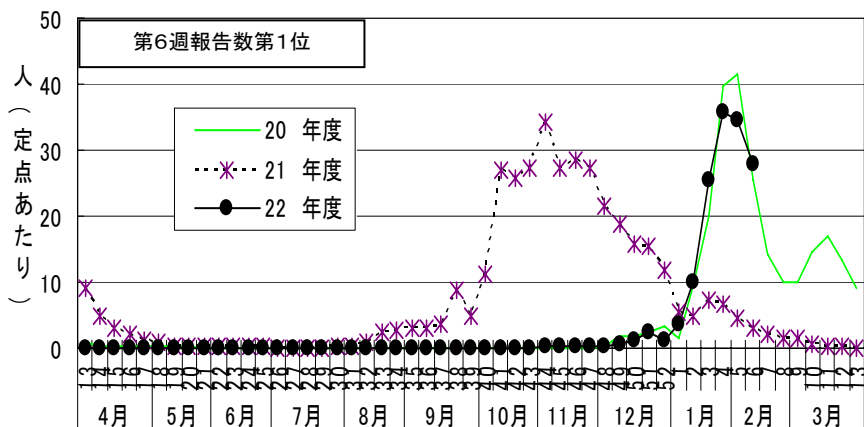


KAWASAKI CITY

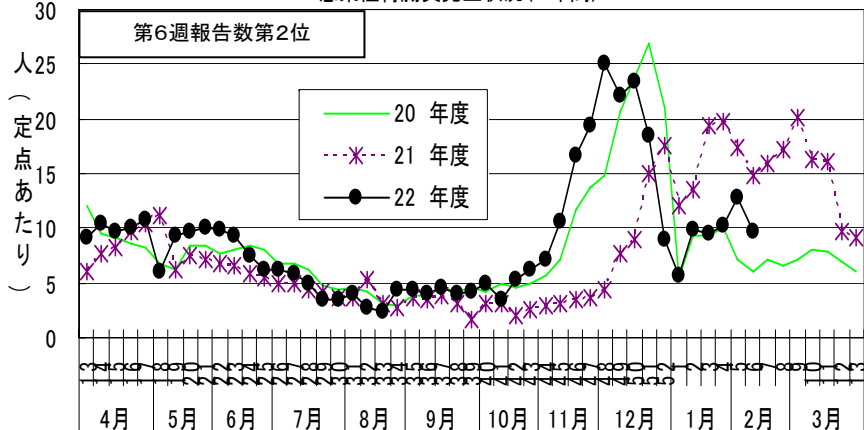
平成23年2月7日（月）～2月13日（日）〔第6週〕の感染症発生状況

第6週で報告数の多かった疾病は、1)インフルエンザ 2)感染性胃腸炎 3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。
 インフルエンザは定点あたり27.93人と前週(34.50)より患者報告数は減少しておりますが、依然として流行発生警報基準値(定点あたり30人)に近いレベルとなっておりますので、引き続き発生動向に注意する必要があります。また、感染性胃腸炎は定点あたり9.67人と前週(12.76)より患者報告数は減少しております。全数報告疾患については、アメーバ赤痢の発生届が1件(感染経路:不明、感染地域:不明)、急性脳炎の報告が2件(感染経路:①不明②飛沫・飛沫核感染、感染地域:①不明②川崎市)ありました。

インフルエンザ発生状況(3年間)



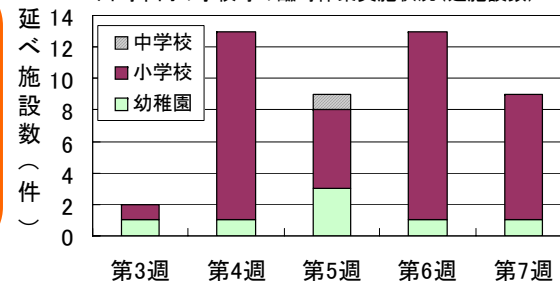
感染性胃腸炎発生状況(3年間)



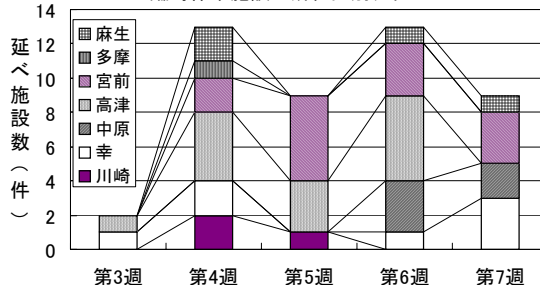
インフルエンザ報告は減少！でも学級閉鎖の報告は増加！！

インフルエンザの患者報告数は、左のグラフのとおり、2週連続で減少しており、流行のピークを過ぎたように見えますが、学級閉鎖等の報告数については、第5週から第6週にかけて増加しております。インフルエンザについては、まだまだ高いレベルで推移していることに加えて、B型インフルエンザの患者報告数は、例年2月以降に増加する場合がありますため、今後も油断できない状況にあります。

川崎市内の学校等の臨時休業実施状況(延施設数)



臨時休業施設の所在区別グラフ



上のグラフのとおり、今シーズンの学級閉鎖等の報告は、第7週(2月15日15時現在把握分まで)までで、延べ46施設となっております。

左のグラフは延べ46施設を区別・週別で表したものです。第7週までに全ての区の施設から報告がありますが、特に高津区や宮前区に多い状況です。逆に多摩区では第4週の1件のみとなっております。

①うがいと手洗い

インフルエンザの予防法 基本の6か条

